

RV130およびRV130WでのIPv4 LANの設定

目的

[LAN Configuration] ページでは、ルータのLANインターフェイスを設定できます。インターフェイスには、1つのプライマリIPアドレスと複数のセカンダリアドレスを設定できます。デバイスによって生成されるパケットは常にプライマリIPv4アドレスを使用するため、インターフェイス上のすべてのネットワークデバイスは同じプライマリIPアドレスを共有する必要があります。各IPv4パケットは、送信元または宛先IPアドレスからの情報に基づいていません。

このドキュメントの目的は、RV130およびRV130WでIPv4 LAN設定を行う方法を説明することです。

該当するデバイス

- ・ RV130
- ・ RV130W

IPv4 LAN設定の設定

IPv4の設定

ステップ1: Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [LAN] > [LAN Configuration] を選択します。[LAN Configuration] ページが開きます。

LAN Configuration

IPv4

VLAN:

Local IP Address: . . . (Hint: 192.168.1.1)

Subnet Mask:

Server Settings(DHCP)

DHCP Server: Enable Disable DHCP Relay

Remote DHCP Server: . . .

Starting IP Address:

Maximum Number of DHCP Users:

IP Address Range: . . . -

Client Lease Time: Minutes (Range: 1 - 9999, Default: 1440)

DNS Server:

Static DNS 1: . . .

Static DNS 2: . . .

Static DNS 3: . . .

WINS: . . .

ステップ2:[VLAN] ドロップダウンリストからVLAN IDを選択します。

IPv4

VLAN:

- 1
- 100
- 50
- 75

Local IP Address: . . (Hint: 192.168.1.1)

Subnet Mask:

注：VLANを追加するには、『[RV130およびRV130WでのVLANメンバーシップ](#)』を参照してください。

ステップ3：ルータのIPアドレスを入力します。

IPv4

VLAN:

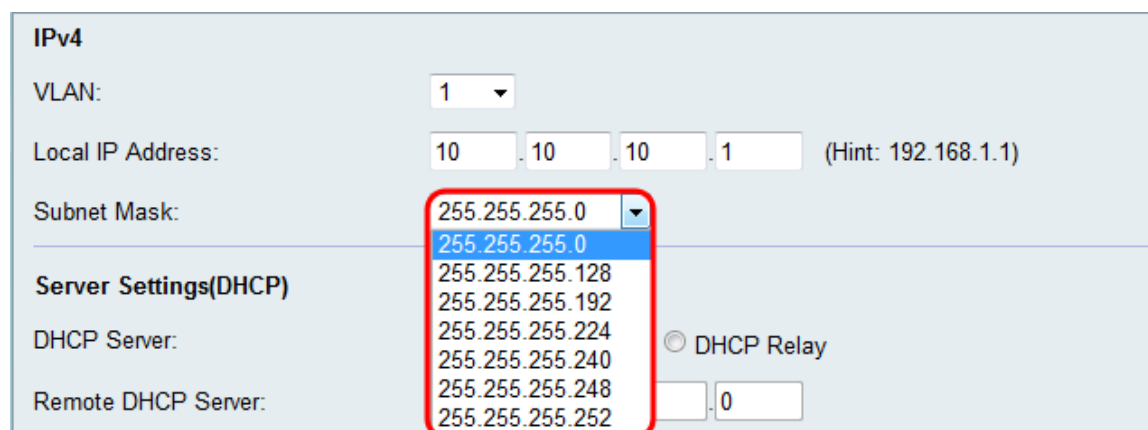
Local IP Address: . . . (Hint: 192.168.1.1)

Subnet Mask:

注：ローカルIPアドレスが変更されると、[Save] ボタンをクリックして変更を適用しても、

ブラウザは応答しません。新しいIPアドレスを使用して、設定ユーティリティに再接続する必要があります。たとえば、ローカルIPアドレスを192.168.1.1 (デフォルト) から10.0.0.1 (デフォルト) に変更した場合、ルータに接続されているコンピュータのIPアドレスを192.168.1.xサブネットになるように変更する (または、DHCP経由で接続されている場合はIPアドレスを解放して更新する) 必要があります。次に、ブラウザでhttp://10.0.0.1を使用してユーティリティに接続します。

ステップ4:[Subnet Mask] ドロップダウンリストでサブネットマスクを選択します。最後の桁が小さい値のサブネットマスクを使用すると、より広い範囲のIPがそのサブネットに属することができます。たとえば、255.255.255.0は254のホストIPをサポートし、255.255.255.128は126のホストIPをサポートします。



IPv4

VLAN: 1

Local IP Address: 10 . 10 . 10 . 1 (Hint: 192.168.1.1)

Subnet Mask: 255.255.255.0

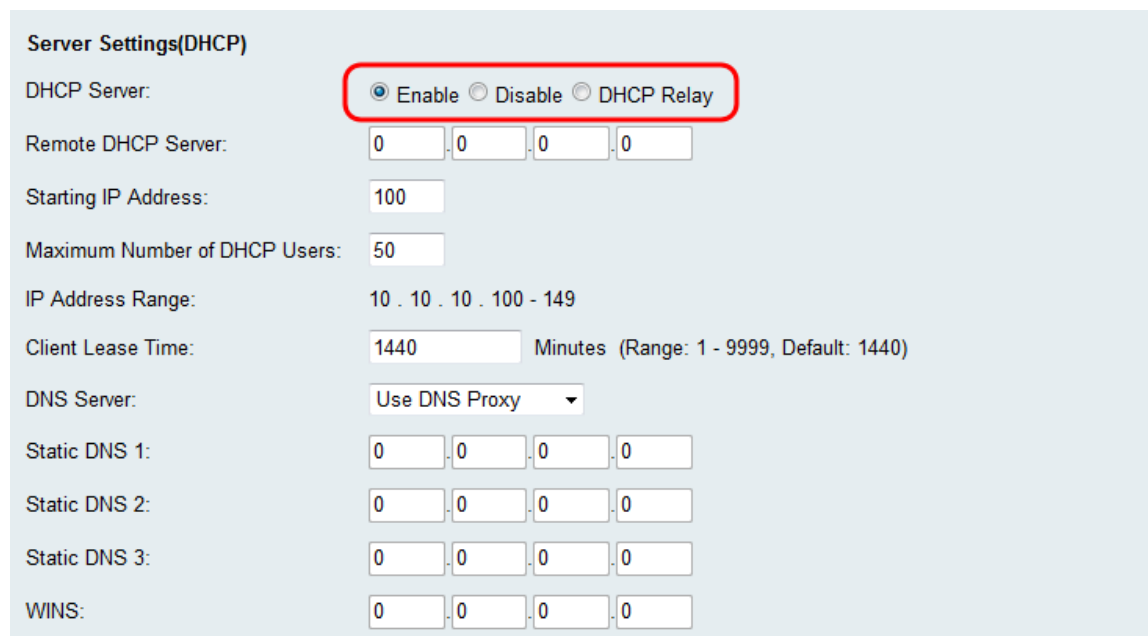
Server Settings(DHCP)

DHCP Server: DHCP Relay

Remote DHCP Server: 0 . 0 . 0 . 0

サーバ設定(DHCP)の設定

ステップ1:[DHCP Server] セクションで目的のオプションボタンのいずれかを選択します。



Server Settings(DHCP)

DHCP Server: Enable Disable DHCP Relay

Remote DHCP Server: 0 . 0 . 0 . 0

Starting IP Address: 100

Maximum Number of DHCP Users: 50

IP Address Range: 10 . 10 . 10 . 100 - 149

Client Lease Time: 1440 Minutes (Range: 1 - 9999, Default: 1440)

DNS Server: Use DNS Proxy

Static DNS 1: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 2: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 3: 0 . 0 . 0 . 0

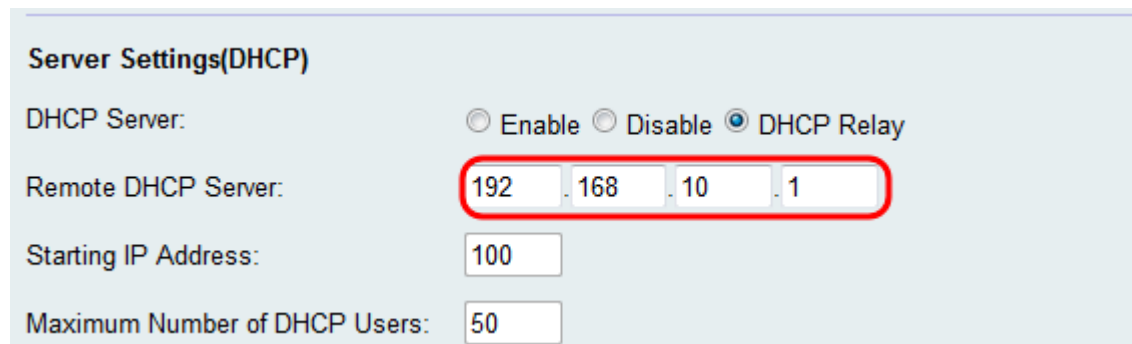
WINS: 0 . 0 . 0 . 0

使用可能なオプションは次のように定義されています。

- ・ Enable : ルータがDHCPサーバとして動作できるようにします。このオプションを選択する場合は、ステップ3に進みます。
- ・ Disable:LAN内のコンピュータが、別のDHCPサーバで静的IPアドレスを使用するように構成されている場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択する場合は、ステップ9に進みます。

- ・ DHCPリレー：Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)サーバは、DHCPクライアントに設定パラメータを提供します。DHCPクライアントと関連サーバが同じIPネットワークまたはサブネット上にはない場合、DHCPリレーエージェントはDHCPメッセージをクライアント間で転送できます。

ステップ2：ステップ1でDHCPリレーが選択されている場合は、リモートDHCPサーバのIPアドレスを[Remote DHCP Server] フィールドに入力します。ステップ9に進みます。



Server Settings(DHCP)

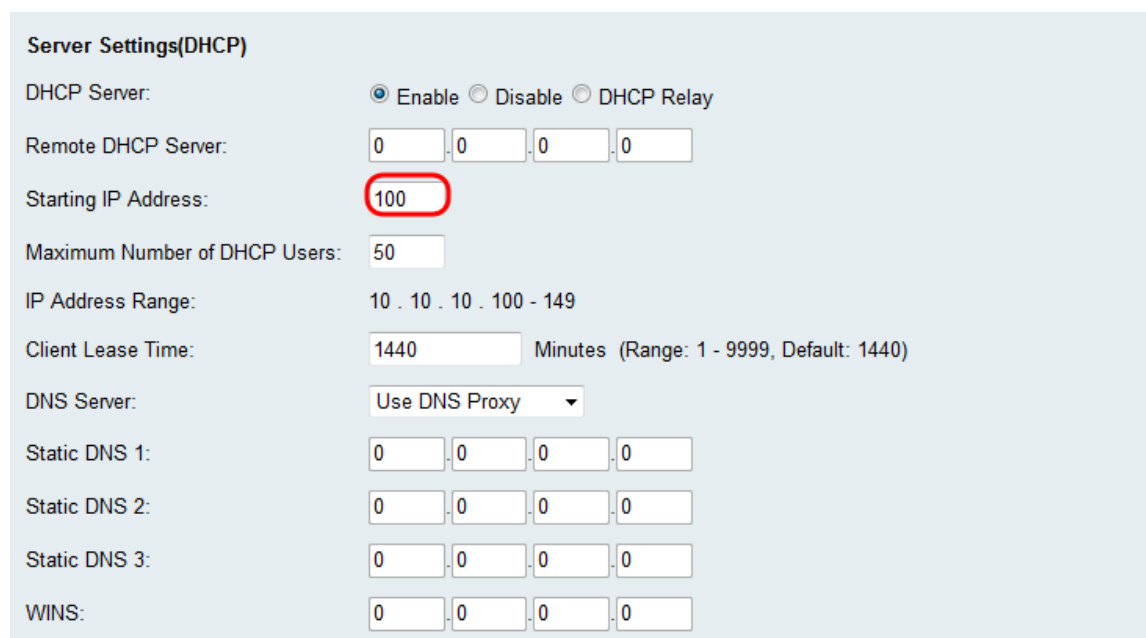
DHCP Server: Enable Disable DHCP Relay

Remote DHCP Server: 192 . 168 . 10 . 1

Starting IP Address: 100

Maximum Number of DHCP Users: 50

ステップ3：ステップ1で[Enable] を選択した場合は、[Starting IP Address] フィールドからIPアドレスの最後のオクテットの番号を選択します。この番号は、10進数値をローカルホストに追加することによって、開始IPアドレスを設定します。



Server Settings(DHCP)

DHCP Server: Enable Disable DHCP Relay

Remote DHCP Server: 0 . 0 . 0 . 0

Starting IP Address: 100

Maximum Number of DHCP Users: 50

IP Address Range: 10 . 10 . 10 . 100 - 149

Client Lease Time: 1440 Minutes (Range: 1 - 9999, Default: 1440)

DNS Server: Use DNS Proxy

Static DNS 1: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 2: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 3: 0 . 0 . 0 . 0

WINS: 0 . 0 . 0 . 0

ステップ4：ステップ1で[Enable] を選択した場合は、[Maximum Number of DHCP Users] フィールドで、ルータからIPアドレスを受信できるクライアントの最大数を設定します。

Server Settings(DHCP)

DHCP Server: Enable Disable DHCP Relay

Remote DHCP Server: 0 . 0 . 0 . 0

Starting IP Address: 100

Maximum Number of DHCP Users: 50

IP Address Range: 10 . 10 . 10 . 100 - 149

Client Lease Time: 1440 Minutes (Range: 1 - 9999, Default: 1440)

DNS Server: Use DNS Proxy

Static DNS 1: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 2: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 3: 0 . 0 . 0 . 0

WINS: 0 . 0 . 0 . 0

ステップ5: ステップ1で**Enable**を選択した場合は、ネットワークユーザが動的に割り当てられたアドレスでルータに接続できる時間(分単位)を[Client Lease Time]フィールドに入力します。デフォルトは1440分です。クライアントリースには、1~9999分の範囲を選択できます。

Server Settings(DHCP)

DHCP Server: Enable Disable DHCP Relay

Remote DHCP Server: 0 . 0 . 0 . 0

Starting IP Address: 100

Maximum Number of DHCP Users: 50

IP Address Range: 10 . 10 . 10 . 100 - 149

Client Lease Time: 1440 Minutes (Range: 1 - 9999, Default: 1440)

DNS Server: Use DNS Proxy

Static DNS 1: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 2: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 3: 0 . 0 . 0 . 0

WINS: 0 . 0 . 0 . 0

ステップ6:[DNS Server] ドロップダウンメニューで送信元DNSサーバを選択します。

DNS Server: Use DNS Proxy

Static DNS 1: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 2: 0 . 0 . 0 . 0

Static DNS 3: 0 . 0 . 0 . 0

WINS: 0 . 0 . 0 . 0

使用可能なオプションは次のように定義されています。

- ・ DNSプロキシの使用 – プロキシの現在のパブリックネットワークDNSサーバにDNS要求をリレーし、ネットワーク上のクライアントデバイスにDNSリゾルバとして応答します。これを選択した場合は、ステップ9に進みます。
- ・ ISPのDNSを使用する：インターネットサービスプロバイダー(ISP)から提供されたDNSアドレスを使用します。ステップ9に進みます。
- ・ [Use DNS as Below]:[Static DNS Server IP Address] フィールドで指定されたDNSアドレスを使用します。

ステップ7：ステップ6で[Use DNS as Below] が選択されている場合は、[Static DNS (1-3)] フィールドに静的DNS IPアドレスを入力します。

注：冗長性のために追加のDNSサーバを設定するのが一般的であるため、複数のスタティックDNSフィールドが用意されています。これにより、いずれかのDNSサーバが予期せずダウンした場合のダウンタイムが制限されます。

DNS Server:	Use DNS as Below ▾
Static DNS 1:	10 . 10 . 10 . 5
Static DNS 2:	192 . 168 . 55 . 2
Static DNS 3:	192 . 168 . 1 . 100
WINS:	192 . 168 . 200 . 5

ステップ8：ステップ6で[Use DNS as Below] が選択されている場合は、[WINS] フィールドにWINSのIPアドレスを入力します。Windows Internet Naming Service(WINS)は、各デバイスのインターネットとのやり取りを管理します。WINSは、現在使用可能なコンピュータの名前と各コンピュータに割り当てられたIPアドレスで自動的に更新される分散データベースを使用します。

DNS Server:	Use DNS as Below ▾
Static DNS 1:	10 . 10 . 10 . 5
Static DNS 2:	192 . 168 . 55 . 2
Static DNS 3:	192 . 168 . 1 . 100
WINS:	192 . 168 . 200 . 5

ステップ9:[Save] をクリックして設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。